

平成31年3月期 第3四半期 決算のお知らせ

【単体】四半期純利益 31億41百万円

通期業績予想（当期純利益40億円）の進捗率 78.5%

【連結】親会社株主に帰属する四半期純利益30億43百万円

通期業績予想（親会社株主に帰属する当期純利益41億円）の進捗率 74.2%

株式会社秋田銀行（頭取 新谷 明弘）は、1月30日（水）、平成31年3月期（平成30年度）第3四半期の決算を発表いたしました。

1 損 益

(1) 単 体

経常収益は、資金運用収益の減少により、前年同期比10億22百万円減収の294億63百万円となりました。

コア業務純益は、役務取引等利益の増加や経費の減少が寄与したものの、資金利益の減少により12億73百万円減少し43億40百万円となりました。

経常利益は、コア業務純益の減少と与信関係費用の増加により3億52百万円減少し45億円となりました。

四半期純利益は、7億61百万円減少し31億41百万円となりました。

平成30年度通期の業績予想（11月12日公表値）は、経常利益58億円、当期純利益40億円としており、これに対する第3四半期の進捗率はそれぞれ77.5%、78.5%となりました。

(2) 連 結

経常収益は、前年同期比12億69百万円減収の330億87百万円となりました。

経常利益は、7億90百万円減少し45億65百万円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、12億94百万円減少し30億43百万円となりました。

平成30年度通期の業績予想は、経常利益60億円、親会社株主に帰属する当期純利益41億円としており、これに対する第3四半期の進捗率はそれぞれ76.0%、74.2%となりました。

2 預金および貸出金の状況（単体）

預金（譲渡性預金を含む。）の期末残高は、個人および法人預金は増加したものの、地公体からの預金が減少したことにより前年同月末比158億円減少し2兆6,824億円となりました。（増加率は△0.5%）

貸出金は、個人ローンや事業先向け貸出の増加により前年同月末比120億円増加し1兆6,800億円となりました。（増加率は0.7%）

なお、詳細につきましては決算短信をご参照ください。